

特集 1

激変する時代～10年の変化～

前国家安全保障戦略策定時（2013年）以降の変化に焦点をあて、特集しています。 1

特集 2

国家防衛戦略

「国家防衛戦略」について、特集しています。 7

第I部

わが国を取り巻く安全保障環境

第1章 概観

1 グローバルな安全保障環境 33

2 インド太平洋地域における安全保障環境 34

第2章 ロシアによる侵略とウクライナによる防衛

1 全般 39

2 ウクライナ侵略の経過と見通し 39

3 ウクライナ侵略が国際情勢に与える影響と各国の対応 44

第3章 諸外国の防衛政策など

第1節 米国 48

1 安全保障・国防政策 48

2 軍事態勢 53

第2節 中国 56

1 全般 56

2 軍事 57

3 対外関係など 81

第3節 米国と中国の関係など 87

1 米国と中国の関係（全般） 87

2 インド太平洋地域における米中の軍事動向 88

3 台湾の軍事力と中台軍事バランス 91

第4節 朝鮮半島 98

1 北朝鮮 99

2 韓国・在韓米軍 118

第5節 ロシア 123

1 全般 123

2 安全保障・国防政策 123

3 軍事態勢と動向 125

4 北方領土などにおけるロシア軍 130

5 対外関係 131

第6節 大洋州 136

1 オーストラリア 136

2 ニュージーランド 139

第7節 東南アジア 140

1 全般 140

2 各国の安全保障・国防政策 140

3 各国の軍近代化 144

4 地域内外における協力 145

第8節 南アジア 146

1 インド 146

2 パキスタン 149

3 カシミール地方の帰属をめぐるインドとパキスタンとの対立 150

第9節 欧州・カナダ 151

1 全般 151

2 多国間の安全保障の枠組みの強化 152

3 欧州各国などの安全保障・防衛政策 154

第10節 その他の地域など（中東・アフリカを中心に） 157

1 中東 157

2 アフリカ 160

3 国際テロリズムの動向 162

第4章 宇宙・サイバー・電磁波の領域や情報戦などをめぐる動向・国際社会の課題など

第1節 情報戦などにも広がりみせる科学技術をめぐる動向 164

1 科学技術と安全保障 164

2 軍事分野における先端技術動向 164

3 民生分野における先端技術動向 166

4 情報関連技術の広まりと情報戦 167

5 防衛生産・技術基盤をめぐる動向 168

6 経済安全保障をめぐる動向 169

第2節 宇宙領域をめぐる動向 171

1 宇宙領域と安全保障 171

2 宇宙空間に関する各国の取組 171

第3節 サイバー領域をめぐる動向 175

1 サイバー空間と安全保障 175

2 サイバー空間における脅威の動向 175

3 サイバー空間における脅威に対する動向 177

第4節 電磁波領域をめぐる動向 180

1 電磁波領域と安全保障 180

2 電子戦に関する各国の取組 180

第5節 海洋をめぐる動向 182

1 「公海自由の原則」などをめぐる動向 182

2 海洋安全保障をめぐる各国の取組 182

3 北極海をめぐる動向 183

第6節 大量破壊兵器の移転・拡散 185

1 核兵器 185

2 生物・化学兵器 186

3 弾道ミサイルなど 186

4 大量破壊兵器などの移転・拡散の懸念の拡大 187

第7節 気候変動が安全保障環境や軍に与える影響 188

1 気候変動が与える影響 188

2 気候変動に対する取組 189

第II部

わが国の安全保障・防衛政策

第1章 わが国の安全保障と防衛の基本的考え方

第1節 わが国の安全保障を確立する方策 193

第2節 憲法と防衛政策の基本 194

1 憲法と自衛権 194

2 憲法第9条の趣旨についての政府見解 194

3 基本政策 195

第3節 わが国の安全保障政策の体系 197

1 三文書の策定の経緯 197

2 わが国の国家安全保障政策の体系 197

第2章 国家安全保障戦略

1 策定の趣旨 199

2 わが国の国益 199

3 わが国の安全保障に関する基本的な原則 199

4 わが国を取り巻く安全保障環境とわが国の安全保障上の課題 201

5 わが国の安全保障上の目標 202

6 わが国が優先する戦略的なアプローチ 203

7 わが国の安全保障を支えるために強化すべき国内基盤 204

8 結語 205

第3章 国家防衛戦略

第1節 防衛大綱から国家防衛戦略への変遷 206

1 51大綱 206

2 07大綱 206

3 16大綱 207

4 22大綱 207

5 25大綱 207

6 30大綱 208

第2節 国家防衛戦略の内容 209

1 基本的な考え方―防衛力の抜本的強化― 209

2 策定の趣旨 209

3 戦略環境の変化と防衛上の課題 210

4 わが国の防衛の基本方針 211

（防衛目標と反撃能力の保有を含むわが国の防衛力の抜本的強化など）

5 防衛力の抜本的強化にあたって重視する能力（7つの重視分野） 215

6 将来の自衛隊のあり方 218

7 国民の生命・身体・財産の保護・国際的な安全保障協力への取組 219

8 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤 219

9 防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化 220

10 留意事項 220

第4章 防衛力整備計画など

第1節 防衛力整備計画の内容 221

1 防衛力整備計画の意義 221

2 計画の方針 221

3 自衛隊の能力などに関する主要事業 222

4 自衛隊の体制など 225

5 日米同盟の強化 226

6 同志国などとの連携 227

7 防衛力を支える要素 227

8 国民の生命・身体・財産の保護・国際的な安全保障協力への取組 228

9 早期装備化のための新たな取組 229

10 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤 229

11 防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化 230

12 最適化の取組 230

13 整備規模 230

14 所要経費など 230

15 留意事項 231

第2節 令和5年度の防衛力整備 235

1 基本的考え方 235

2 令和5年度の防衛力整備 235

第3節 防衛関係費～防衛力抜本的強化「元年」予算～ 237

1 防衛関係費の概要 237

2 重点事項 239

3 防衛関係費の内訳 241

4 最適化への取組 243

5 各国との比較 244

第5章 わが国の安全保障と防衛を担う組織

第1節 国家安全保障会議 246

第2節 防衛省・自衛隊の組織 247

1 防衛力を支える組織 247

2 自衛隊の統合運用体制 251

第6節 自衛隊の行動などに関する枠組み

1 武力攻撃事態等及び存立危機事態における対応 254

2 重要影響事態への対応 256

3 公共の秩序の維持や武力攻撃に至らない侵害への対応など 257

4 災害派遣など 260

5 国際社会の平和と安定への貢献に関する枠組み 260

ダイジェスト 本文第Ⅰ部～第Ⅳ部の記述について、分かりやすく要約しています。 13

活躍する自衛隊員

世界で、また日本全国で活躍する自衛隊員を、紹介しています。

世界編

国内編

Ⅲ部

防衛目標を実現するための3つのアプローチ

第1章 わが国自身の防衛体制

Table of contents for Chapter 1: Domestic Defense System. Includes sections on strengthening national defense, missile defense, and information operations.

第2章 日米同盟

Table of contents for Chapter 2: US-Japan Alliance. Covers alliance mechanisms, joint exercises, and cooperation in various domains.

第3章 同志国などとの連携

Table of contents for Chapter 3: Cooperation with like-minded countries. Discusses strategic cooperation and joint exercises.

Ⅳ部

共通基盤などの強化

第1章 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤の強化など

Table of contents for Chapter 1: Strengthening defense production and technical infrastructure. Includes sections on defense production, equipment, and economic security.

第2章 防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化など

Table of contents for Chapter 2: Strengthening the base for self-defense forces' capabilities. Covers personnel, training, and organizational structure.

第3章 訓練・演習に関する諸施策

Table of contents for Chapter 3: Various measures regarding training and exercises.

第4章 地域社会や環境との共生に関する取組

Table of contents for Chapter 4: Cooperation for coexistence with local society and environment. Includes sections on regional cooperation and disaster response.

COLUMN

第I部

第1章 概観
解説 わが国周辺におけるミサイル脅威の高まり 38

第2章 ロシアによる侵略とウクライナによる防衛
解説 ロシアによるウクライナ侵略の教訓 47

第3章 諸外国の防衛政策など
解説 台湾をめぐる中国の軍事動向 76
解説 2022年の北朝鮮の核・ミサイル開発動向 114
解説 わが国周辺におけるロシアの軍事動向 132
解説 防衛協力から見るインドの安全保障政策 148

第II部

第3章 国家防衛戦略
解説 反撃能力 213

第4章 防衛力整備計画など
解説 自衛隊の体制強化 226

第5章 わが国の安全保障と防衛を担う組織
解説 常設の統合司令部 253

第6章 自衛隊の行動などに関する枠組み
解説 自衛隊の任務について 263

第III部

第1章 わが国自身の防衛体制
解説 戦略的コミュニケーションの取組の推進 272
解説 尖閣諸島について 274
解説 海上保安庁との連携強化について 275
解説 スタンド・オフ防衛能力の強化 281
解説 与那国島と台湾 282
解説 統合防空ミサイル防衛（HGV等対処） 285
解説 ジャラートによる弾道ミサイルに関する情報伝達（内閣官房からのお知らせ） 288
解説 国民保護と防衛省・自衛隊の取組 306
解説 偽情報への対応 310

第2章 日米同盟
解説 米軍無人機MQ-9の鹿屋航空基地への一時展開 334

第3章 同志国などとの連携
解説 日豪防衛協力の深化 366
VOICE 能力構築支援事業に参加した
 パプアニューギニア陸軍人からの声 385

第IV部

第1章 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤の強化など
解説 防衛生産・技術基盤の抜本的強化に向けた取組 415
解説 次期戦闘機の日英伊共同開発 419
VOICE The next-generation fighter aircraft:
 Towards the day of take-off
 次期戦闘機が飛び立つ日 420
解説 早期装備化に向けた新たな取組 423

第2章 防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化など
VOICE 活躍する即応予備自衛官、予備自衛官等雇用主の声 443
VOICE 再就職した隊員と雇用主／首長の声 449
VOICE 医学的見地からのハラスメント問題 452

第3章 訓練・演習に関する諸施策
解説 令和4年度日米共同統合演習（実動演習）
 「キーン・ソード23」 465

第4章 地域社会や環境との共生に関する取組
解説 重要土地等調査法に基づく区域指定について 478
解説 防衛省気候変動対処戦略について 482
解説 令和4（2022）年度国際観艦式 484

巻末資料

平和を仕事にする 497

自衛官の仕事内容や主要装備品、主な広報施設などについて紹介しています。

■ 索引 487

■ 資料編

<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2023/pdf/R05shiryu.pdf>



■ 防衛年表

<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2023/pdf/R05nenpyo.pdf>

凡例

●本書の文中において、次の用語について、それぞれ次の略称を用いたほか、適宜ほかの用語についても略称を用いているところがあります。（一部説明の都合上、正式名称としている場合があります。）

1. 防衛事務次官	→	事務次官
2. 統合幕僚長	→	統 幕 長
3. 陸上幕僚長	→	陸 幕 長
4. 海上幕僚長	→	海 幕 長
5. 航空幕僚長	→	空 幕 長
6. 陸上自衛隊	→	陸 自
7. 海上自衛隊	→	海 自
8. 航空自衛隊	→	空 自
9. 統合幕僚監部	→	統 幕
10. 陸上幕僚監部	→	陸 幕
11. 海上幕僚監部	→	海 幕
12. 航空幕僚監部	→	空 幕
13. 日本国とアメリカ合衆国との 間の相互協力及び安全保障条約	→	日 米 安 保 条 約
14. 国際連合	→	国 連
15. 国連安全保障理事会	→	国連安保理
16. 国家安全保障戦略	→	安 保 戦 略
17. 国家防衛戦略	→	防 衛 戦 略
18. 防衛力整備計画	→	整 備 計 画

●本書に掲載している地図は、デザイン、レイアウトに応じて省略などを施しており、必ずしもわが国の領土の全てを含んでいない場合があります。

本書の記述対象期間は、令和5（2023）年3月末までを原則としています。